

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立新池中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数（ 189人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると中間層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 71.1／泉佐野市 71.2／大阪府 73.5／全国 75.6）

「B 区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ傾向であるが、全国と比較すると上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 60.5／泉佐野市 60.9／大阪府 63.3／全国 66.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的な部分との関係に注意して話すことに課題がある。 1 一 聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する (72.3/80.7) ○目的に応じて資料を効果的に活用して話すことに課題がある。 1 二 絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する (69.1/78.1) ○相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話すことに課題がある。 5 一 電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く (85.6/93.1) ○全体と部分との関係に注意して話を構成することに課題がある。 5 二 伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する (81.9/88.7) ○話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較することに課題がある。 7 一 相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する (60.1/70.6) ○互いの発言を検討して自分の考えを広げることに関与することに課題がある。 7 二 話し合いを踏まえた発言として適切なものを選択する (55.9/62.0)	【書くこと】 ○集めた材料を整理して文章を構成することに課題がある 2 二 文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する (59.0/73.2) ○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに課題がある。 4 二 質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く (70.2/78.7) 【読むこと】 ○文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。 3 一 「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する (74.5/84.7) ○登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することは概ねできている。 3 二 「私」についてのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する (89.9/90.0) ○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。 6 一 「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する (73.4/81.3) ○文章の構成や展開について自分の考えをもつことに課題がある。 6 二 文章について説明したものとして適切なものを選択する (60.6/67.3) ○奥付の特徴や役割を理解することに課題がある。 8 一 奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する (76.1/86.1) ○奥付を使って本についての情報を得ることに課題がある。 8 二 資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する (57.4/62.4)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文脈に即して漢字を正しく書くことは概ねできているが、課題が残るものもある。 9ー1 漢字を書く（大学で歴史のケンキュウをする） (76. 6/83. 5) 9ー2 漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ） (35. 6/26. 1) 9ー3 漢字を書く（家の庭に花をウえる） (93. 1/89. 9) ○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできているが、課題が残るものもある。 9二1 漢字を読む（封筒を開ける）(96. 8/97. 6) 9二2 漢字を読む（長年の努力が報われた） (93. 6/94. 8) 9二3 漢字を読む（目上の人を敬う） (71. 8/82. 6) ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは概ねできているが、課題が残るものもある。	9三ア 適切な語句を選択する（彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた） (78. 7/91. 0) 9三イ 適切な語句を選択する（厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています） (94. 7/97. 9) 9三エ 適切な敬語を選択する（私がプリントを集めて、先生にお届けします） (92. 0/94. 3) ○辞書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉えることに課題がある。 9四ア 漢和辞典の「意味」の中から、「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する (52. 7/60. 3) ○歌に表れた作者の思いを想像するは概ねできている。 9七2 「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する (92. 6/94. 9)
---	---

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。 1三 ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く (61. 4/68. 0) ○課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えることに課題がある。 2三 宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く (39. 7/49. 2) ○本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。 3三 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く (41. 3/57. 7)	【読むこと】 ○文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉えることに課題がある。 1ー ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する (68. 3/76. 2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	54.8	59.8	◇	5.0
国語の勉強は大切だと思いますか	86.8	89.1		2.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	63.7	74.1	○	10.4
読書は好きですか	44.2	69.9	○	25.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	74.2	84.6	○	10.4
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	41.1	62.2	○	21.1
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	45.8	56.7	○	10.9
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	55.8	66.7	○	10.9
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	63.7	71.3	◇	7.6
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	86.3	94.7	◇	8.4

○記述式の問題に対する無回答率が非常に高い。特に、自分の考えを書く問題でその傾向が顕著に出ている。この課題を改善するために、授業の中で自分の考えを書いたり、意見を交流させるような時間が必要になる。そこで、今後は授業の感想を書くなど、自分の考えを言葉で表現することに慣れさせることから始まり、実際に記述式の問題を解く時間を授業の中でつくるなどの取り組みを推進していく。

○読書が好きだと答える生徒が少なく、全国の回答結果と比較すると大きな差がある現状である。そこで、課題を解決するために、まず読書をする機会を積極的に作っていく必要がある。国語の授業や総合の調べ学習などで図書室を活用したり、学校の取り組みとして読書をすることを推進していく取り組みを実施していく。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比較すると上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 57.1／泉佐野市 57.4／大阪府 61.7／全国 62.2）

「B区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ傾向であるが、全国と比較すると中間層から上位層がやや少ない傾向がある。

平均正答率（本校 38.0／泉佐野市 38.2／大阪府 43.1／全国 44.1）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○正の数と負の数の加法の計算は概ねができる。 1 (3) $-3 + (-7)$ を計算する (87.8/91.6) ○数量の関係を文字式に表すことに課題がある。 2 (1) ある数を3でわると、商が a で余りが2になるとき、ある数を a を用いた式で表す (26.5/32.2) ○整式の加法と減法の計算は概ねできる。 2 (2) $(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する (81.5/84.0) ○具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することに課題がある。 2 (4) 等式 $S = ah$ を h について解く (60.3/67.9) ○簡単な一元一次方程式を解くことに課題がある。 3 (1) 一元一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解く (66.1/71.3) ○具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることに課題がある。 3 (3) 縦と横の長さの比が $5 : 8$ の長方形の看板について、縦の長さが 45cm のときの横の長さ $x\text{cm}$ を決めるための比例式をつくる (41.8/52.3)	【図形】 ○垂線の作図の方法について理解することに課題がある。 4 (1) 与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ (25.4/30.9) ○見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることに課題がある。 5 (3) 立方体の見取図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ (66.1/78.8) ○円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解することに課題がある。 5 (4) 円柱の体積が 600cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める (36.0/49.9) ○ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことに課題がある。 7 (2) ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す (54.5/74.7) ○命題の逆を理解することに課題がある。 7 (3) 図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する (64.6/72.3) ○証明の必要性和意味を理解することに課題がある。 8 証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ (48.1/61.9)

【関数】 ○比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、x の値に対応する y の値を求めることに課題がある。 9 (1) 比例の表を完成させる (79.9/87.9) ○反比例のグラフ上の点の座標から、x と y の関係を式で表すことは概ねできる。 9 (4) 反比例のグラフから式を求める (40.7/34.5) ○一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解することに課題がある。 10 (1) 一次関数の表からグラフを選ぶ (50.8/61.9) ○一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求めることに課題がある。 10 (3) 一次関数のグラフから、x の変域に対応する y の変域を求める (37.6/43.0)	○具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことに課題がある。 11 一次関数の事象を式で表す (41.8/53.0) 【資料の活用】 ○資料を整理した表から最頻値を読み取ることに課題がある。 12 (1) 読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める (34.4/45.5) ○測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解することに課題がある。 12 (2) ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ (25.9/34.7) ○簡単な場合について、確率を求めることに課題がある。 13 (2) 1 から 13 までの数字が書かれた 13 枚のカードから 5 または 11 のカードをひく確率を求める (72.0/79.6)
--	--

数学B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することに課題がある。 1 (1) 1試合の時間を16分とするとき、1回の休憩の時間を求める (73.5/79.3) ○適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 1 (3) 1試合の時間を10分とることができるかについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する (44.4/51.4) ○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある。 6 (1) 最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く (64.0/76.4) ○与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。 6 (2) 文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する (12.2/15.4) 【図形】 ○筋道を立てて考え、証明することに課題がある。 4 (1) 2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する (23.3/29.4) ○付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 4 (2) $DA:DC=1:2$のときの$\triangle DEC$がどのような三角形になるかを説明する (27.0/37.3)	【関数】 ○条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めることに課題がある。 2 (1) 一次関数の表から$x=4$のときのyの値を求める (51.3/59.1) ○与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題がある。 3 (1) A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める (60.8/67.4) ○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 3 (3) A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する (20.6/30.3) 【資料の活用】 ○資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 5 (1) 24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する (41.3/47.6) ○与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することに課題がある。 5 (2) 25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く (23.8/31.1)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	59.0	56.0		3.0
数学の勉強は大切だと思いますか	74.2	80.5	◇	6.3
数学の授業の内容はよく分かりますか	70.6	69.4		1.2
数学ができるようになりたいと思いますか	85.8	91.3	◇	5.5
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	72.6	72.1		0.5
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.6	41.9		0.7
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	60.0	71.5	○	11.5
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	73.1	69.0		4.1
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	64.7	69.8	◇	5.1
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	73.1	80.1	◇	7.0
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	52.1	50.0		2.1

○数学的な語句を用いて解答する問題に対する正答率が、全国と比較すると低いため、まず語句の意味を再度生徒に理解させる必要がある。そこで、授業の中でその語句を利用して解答するような問題に挑戦する場面を作ったり、その語句を答えたりする発問を教員がすることで生徒の語句に対する理解を深める。

○記述式の問題や、内容に適した解答を選ぶ問題に対する正答率が、全国と比較すると低い傾向にある。この課題を改善するために、授業の中で解答に至るまでの過程や根拠を説明するような場面を作っていく。このことから、生徒は解答だけを答えるのではなく、どのようにしてその解答に至ったのかを考えることができ、より理解が深まっていく。

○数学が好きだという回答率は全国と比較しても高いが、一方で数学を学習することが大切だと思っている生徒の割合は低いという現状がある。このことから、数学は嫌いではないが、なぜ必要なのか、どのような場面で数学が生かされているのかが十分に理解できていないことが分かる。そのため、結果として数学ができるようになりたいという意欲のある生徒の割合が全国と比較すると少ない。そこで、数学を学ぶ必要性を感じるために、数学的な思考が普段の生活と結びついていることを生徒が理解できるような指導をさらに徹底する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	○多くの生徒が規則正しい生活を送っていると 考えてられるが, 家庭生活 をしている時間の中 で, 普段（月～金曜日） , ゲームをしたり, テレ ビなどの視聴時間が4時 間以上となっている生 徒の割合は全国を大き く上回っている。	○朝食を毎日食べていますか <89.5/93.3> ○毎日, 同じくらいの時刻に寝ていますか <72.1/75.2> ○毎日, 同じくらいの時刻に起きていますか <90.0/92.3> ○普段（月～金曜日）, 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム（コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を しますか ・4時間以上 <12.1/9.7> ・3時間以上, 4時間より少ない <16.8/9.2> ・2時間以上, 3時間より少ない <17.9/16.0> ○普段（月～金曜日）, 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか（勉 強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間, テレビゲ ームをする時間は除く） ・4時間以上 <13.2/10.7>
	○地域や社会で起きてい ることに関心はあるが, 自分自身が行事などに 参加したことがある生 徒は, 全国を下回ってい る。	○今住んでいる地域の行事に参加していますか <37.9/45.2> ○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があり ますか <69.0/65.8> ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがあ りますか <58.4/70.2>

	○家庭生活の中で保護者と十分な関わりを持っている生徒の割合は全国と同程度である。	○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか <75.3/74.1> ○家の手伝いをしていますか <68.9/67.2>
【家庭学習の様子】	○計画的に長時間、家庭学習をできている生徒は全国を上回っているが、学校の宿題などの予習・復習に関して取り組んでいる生徒は全国を下回っている。 ○通塾率は全国を上回っている。 ○自らすすんで読書している生徒の割合は全国を下回っている。	○家で計画を立てて勉強している <54.2/48.4> ○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） ・4時間以上 <8.4/5.1> ・3時間以上、4時間より少ない <15.3/11.5> ・2時間以上、3時間より少ない <25.3/23.5> ○家で、学校の宿題をしていますか <86.8/90.1> ○家で、学校の授業の予習をしていますか <28.4/34.2> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <46.3/51.0> ○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか ・通っていない <25.8/38.9> ○読書は好きですか <44.2/69.9> ○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） ・2時間以上 <2.6/5.5> ・1時間以上2時間より少ない <7.4/8.1> ・30分以上1時間より少ない <6.3/14.6> ○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書室にどれくらい行きますか ・だいたい週に4回以上行く <1.1/2.0> ・週に1～3回程度行く <0.0/5.6> ・月に1～3回程度行く <8.4/11.0> ・年に数回程度行く <18.4/23.1>

【学校での学習の様子】	○自信を持って自分の意見を発表できる生徒の割合は、全国と比べて高い。 ○自分に良いところがあると感じているが、先生にそれが認められていると感じている生徒の割合は全国を大きく下回っている。 ○友達に対して、自分の意見や考えを伝えたり、聞くことはできるが、文章で書くことに対しては苦手意識を持っている生徒が全国を上回っている。 ○授業で分からないところがあれば、先生に聞くとする生徒が全国を大きく上回っている。 ○規律正しい学校生活を送り、自信を持って前向きに物事に対して取り組むことのできる生徒の割合は全国とほぼ同程度である。	○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。 $\langle 58.9/50.2 \rangle$ ○自分には、よいところがあると思いますか $\langle 66.8/69.3 \rangle$ ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか $\langle 63.1/78.0 \rangle$ ○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか $\langle 58.9/50.2 \rangle$ ○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか $\langle 95.3/93.0 \rangle$ ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか $\langle 64.2/62.8 \rangle$ ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか $\langle 66.4/62.8 \rangle$ ○授業で分からないことがあったら、どうすることが多いですか その場で教師に尋ねる $\langle 21.6/9.2 \rangle$ ○学校の規則を守っていますか $\langle 92.2/94.7 \rangle$ ○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか $\langle 93.6/93.6 \rangle$ ○ものごとをやり遂げて、うれしかったことはありますか $\langle 95.7/95.3 \rangle$ ○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか $\langle 70.0/69.6 \rangle$
--------------------	---	--

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・全学年で朝の学習を実施している。その際に、大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークシート」や「力だめしプリント」を積極的に活用している。
- ・1, 2 年生では「基礎」の時間を週に1時間設定し、学習内容の確認・復習を行うためのプリント学習を実施している。
- ・1 年生では、まなびんぐサポート事業を活用し、希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には、補充学習を全学年で実施している。
- ・1 年生では、テスト前に補充学習を実施し、全学年の教員で関わりとともに、定期的に学年単位で希望者に対して補充学習を実施している。
- ・学力向上委員会が主催して、学期ごとに研究授業を実施している。その中で、自分の意見を伝えるために「根拠」をつけて話すように指導している。
- ・学力向上担当者が、積極的に校外研修に参加し、そこで得た知識を校内研修で伝達講習している。
- ・教員の授業力向上のために、言語技術教育に着目し、校内研修を実施している。
- ・泉佐野市教育委員会主催の授業・保育づくり研修においても、研究授業を実施している。
- ・家庭学習を定着させるために、学年や学校全体でマイチャレンジ（自学自習ノート）の取組みを行っている。
- ・情報教育についての授業を実施している。その中で、スマートフォン・携帯電話の使用に関する学習を通して情報モラルについて理解を深めている。
- ・6 月に hyper-QU を実施し、その分析・検証を校内研修で行い、本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。今年度は新池中学校区の小学校とも合同で研修を行った。また、生徒指導担当が毎年4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し、全職員が同じ方向性を持って指導できる環境や体制を構築している。
- ・昨年度のチャレンジテストの結果の分析・検証を校内研修で行った。
- ・生徒会や部活動に参加している生徒を中心に、青少年指導員や PTA の方々とともに校区内の清掃活動に参加した。

◎これからの取組み

- ・情報教育を深めるために、企業による講演会や授業を生徒指導委員会主催で予定している。
- ・2 回目の hyper-QU を 11 月に実施し、生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し、生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら、より適切な指導や対応につなげていく。
- ・長期休業に補充学習を実施することを予定している。
- ・学力向上委員会主催の研究授業を2学期と3学期に1回ずつ実施する。
- ・11 月に実施される行事である新池フェスタでは、PTA や青少年指導員を中心にした地域の方々と生徒会や部活動に参加している生徒で、防災に関する企画を立てて取り組みを進めている。